

2022年1月23日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

1月23日 聖日礼拝									
前 奏		招 詞 ホセア書10章12節							
「あなたがたは正義の種を蒔き、誠実の 実を刈り入れ、耕地を開拓せよ。今が 主を求める時だ。」アーメン									
会衆賛美		聖歌501（1、2節）							
主の祈り		主はぶどうの木（1回）							
交 読		詩篇8篇1〜9節							
礼拝祈禱									
使徒信条									
聖書朗読		マタイの福音書							
説 教		21章1〜11節 子ろばに乗ったイエス様 荻野泰弘牧師							
会衆賛美		聖歌104（1、2節）							
献 金									
頌 栄		聖歌376							
祝 祷									
報告									
後 奏		感謝祈禱							

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇8篇1節～9節

- 1 主よ 私たちの主よ
あなたの御名は全地にわたり
なんと力に満ちていることでしょう。
あなたのご威光は天でたたえられています。
- 2 幼子たち 乳飲み子たちの口を通して
あなたは御力を打ち立てられました。
あなたに敵対する者に応えるため
復讐する敵を鎮めるために。
- 3 あなたの指のわざである あなたの天
あなたが整えられた月や星を見るに
- 4 人とは何ものなのでしょう。
あなたが心に留められるとは。
人の子とはいったい何ものなのでしょう。
あなたが顧みてくださるとは。
- 5 あなたは 人を御使いより
わずかに欠けがあるものとし
これに栄光と誉れの冠を
かぶらせてくださいました。
- 6 あなたの御手のわざを人に治めさせ
万物を彼の足の下に置かれました。
- 7 羊も牛もすべて また野の獣も
- 8 空の鳥 海の魚 海路を通うものも。
- 9 主よ 私たちの主よ
あなたの御名は全地にわたり
なんと力に満ちていることでしょう。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 21章1～11節

- 1 さて、一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山のふもとのベテパゲまで来たそのとき、イエスはこう言って、二人の弟子を遣わされた。
- 2 「向こうの村へ行きなさい。そうすればすぐに、ろばがつかがれていて、一緒に子ろばがいるのに気がつくでしょう。それをほどいて、わたしのところに連れて来なさい。
- 3 もしだれかが何か言ったら、『主がお入り用なのです』と言いなさい。すぐに渡してくれます。」
- 4 このことが起こったのは、預言者を通して語られたことが成就するためであった。
- 5 「娘シオンに言え。
『見よ、あなたの王があなたのところに来る。
柔和な方で、ろばに乗って。
荷ろばの子である、子ろばに乗って。』」
- 6 そこで弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにし、
- 7 ろばと子ろばを連れて来て、自分たちの上着をその上に掛けた。そこでイエスはその上に座られた。
- 8 すると非常に多くの群衆が、自分たちの上着を道に敷いた。また、木の枝を切って道に敷く者たちもいた。
- 9 群衆は、イエスの前を行く者たちも後に続く者たちも、こう言って叫んだ。
「ホサナ、ダビデの子に。
祝福あれ、主の御名によって来られる方に。
ホサナ、いと高き所に。」
- 10 こうしてイエスがエルサレムに入られると、都中が大騒ぎになり、「この人はだれなのか」と言った。
- 11 群衆は「この人はガリラヤのナザレから出た預言者イエスだ」と言っていた。

■聖歌104「なんという愛だろう」

- ①なんという愛だろう 主キリストが われらに残した おん足跡は
- ②どんな低い者も 愛しいたわり どんな罪とがをも きよめられた

■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父 御子 みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」